

くれしえんど！

Crescendo!

2023.11 vol. 38



『夜のピクニック』

おんだりく ちよ
恩田陸 // 著 新潮社 (F/オ)

高校最後の一大イベント「歩行祭」。夜通し全校生徒が80キロを歩く北校の伝統行事だ。3年生の貴子は小さな賭けを胸にひめて行事にのぞむ——。たった一夜のイベントが奇跡をおこす、本屋大賞を受賞した青春小説。



イベントの秋

『マスクと黒板』

はまの きょうこ
濱野京子 // 作 講談社 (91/ハ)

いつもマスクだった、^{たちばなてる}立花輝・^{ひしゆつば}中二・美術部に、コロナはむしろ好都合。休校明けの学校で黒板アートを見たときから、輝のなかで何かが変わる。文化祭や運動会がなくてもイベントは開ける！ コロナの日々の物語。



特集は
2-3 面へ

まるまる 特集：〇〇な秋！

秋はスポーツ？ 芸術？ それとも食欲？ ぜんぶまとめて読書の秋にしよう！ いろんな秋をたのしめる本をご紹介します。



新刊案内は 4面 へ





『殺意は必ず三度ある』

さつ い かなら
『殺意は必ず三度ある』
ひがしがわとく や ちよ
東川篤哉 // 著 実業之日本社 (F/ヒ)

弱小の鯉ヶ窪学園野球部のグラウンドから、ベースが盗まれた。後日、ライバル校との練習試合後半で、監督の死体が発見された！ お気楽探偵部の3人が事件に首をつっこんで、推理するけど……？ 奇妙な野球殺人事件の結末は？



『ゴースト』

ジェイソン・レノルズ // 作
小峰書店 (93/レ)

ひまわりの種を食べて、いつものように暇をつぶしていたゴースト。その日は競技場をのぞいて帰るつもりだったのに、陸上クラブの選手たちをつい見てしまって……。父に発砲された過去をもつゴーストが陸上チームへ入り、自分の過去や仲間たちと向き合いながら、困難に立ち向かう。



『アイスクリン強し』

はたけなかめぐみ ちよ
畠中恵 // 著 講談社 (F/ハ)

ビスケット、チョコレート、アイスクリン……。明治、居留地近くで西洋菓子店「風琴屋」を営む皆川真次郎。そこでは、お腹をすかせた元幕臣の巡查たち「若様組」と成金のお嬢様・沙羅さんがやってきて騒動を巻き起こす！ 明治スイーツ物語。

スポーツの秋



『太陽と月 1 サッカー・ドリーム』

はらだみずき // 著 小学館 (91/ハ)

こがら 小柄な点取り屋の太陽と、長身の心優しい月人。同じ小6で、フオワード。だけど個性が全く違う2人がプロサッカー選手を目指して、サッカーのエリート育成機関、JFA アカデミーの選考合宿に挑む！ 夢に向かってたがいになぶつかり合いながらも成長していく青春サッカー小説。選考合宿後の2人を描いた続編もあります。



『真夜中のパン屋さん 午前0時のレシピ』

まよなか
大沼紀子 // 著 ポプラ社 (F/オ/1)

真夜中にだけ開く不思議なパン屋さん。そこを切り取りしているのは、オーナーの暮林、イケメン毒舌パン職人の弘基、訳あり居候女子高生の希実。お店にやってくるのも个性的なお客様ばかりで…。美味しいパンとともにつむがれるちょっぴり切なく心震える物語。



『線は、僕を描く』

とがみひろまさ ちよ
砥上裕将 // 著 講談社 (F/ト)

両親を事故で失い、悲しみから立ち直れずにいた霜介。バイト先で水墨画の巨匠・篠田湖山に出会い、なぜか気に入られ内弟子となることに。だが湖山の孫・千咲は反対して……。水墨画を通して自分を取り戻す青年を描く、芸術×青春小説。

芸術の秋



『ぼくたち負け組クラブ』

アンドリュー・クレメンツ // 著
講談社 (93/ク)

本が大好きなアレックスは、誰にも邪魔されずに本を読むためにクラブをつくる。名前は「負け組クラブ」。変な名前にすれば誰も入ってこないと思っていたのに、どんどん仲間がふえていって……。



読書の秋

『図書室のはこぶね』

なとり さわこ ちよ
名取佐和子 // 著 実業之日本社 (F/ナ)

10年前に貸出されたままだったケストナーの『飛ぶ教室』が、野亜高図書室に帰ってきた。なぜ今なのか？ 校内が体育祭準備で沸き立つなか、足のケガで出られないバレエ部の花音と、図書委員の朝太郎は謎を解こうとする。1冊の本をめぐる青春小説。

読みやすさレベル



読みやすい



ふつう



チャレンジしよう

『影の王』

スーザン・クーパー // 作
偕成社 (93/ク)

アメリカの少年俳優ナットは復元されたロンドンのグローブ座でシェイクスピアの「真夏の夜の夢」に出演するため、渡英した。ある朝、目が覚めるとそこは16世紀のロンドンだった！ 当時のシェイクスピアと舞台にたったナットは……。少年俳優が活躍するタイムファンタジー。





新着図書

あたらしく図書館に入った本からおすすめをご紹介します。しょうかい

ラベル	タイトル	著者	出版社ほか
03/7/23	『現代用語の基礎知識学習版 2023-2024』		自由国民社
14/イ	『イラスト版子どものマインドフルネス』	今井正司 // 著	合同出版
15/ト	『10代の悩みに効くマンガ、あります!』	トミヤマユキコ // 著	岩波ジュニア新書
162/ズ	『図解でわかる 14歳から知る日本人の宗教と文化』	山折哲雄 // 監修	太田出版
31/カ	『14歳のヒロシマ』	梶本淑子 // 著	河出書房新社
32/オ	『もうすぐ大人になる君が知っておくべき 13歳からの民法』	岡信太郎 // 著	扶桑社
327/ジ	『10代のための裁判員裁判』	牧野茂・大城聡 // 監修	旬報社
369/チ	『遠くの人と手をつなぐ』	千葉望 // 著	理論社
376/ミ	『音楽学部 なるには BOOKS 大学学部調べ』	三井綾子 // 著	ペリかん社
45/キ	『恐竜がもっと好きになる化石の話』	木村由莉 // 著	岩波書店
49/フ	『ふせごう！デジタル近視』	北明大洲監修	旬報社
689/ズ	『図解でわかる 14歳から学ぶこれからの観光』		太田出版
91/ア	『アゲイン』	あんずゆき // 作	フレール館
91/イ	『夜空にひらく』	いとうみく // 著	アリス館
F/イ	『神の呪われた子 池袋ウエストゲートパーク 19』	石田衣良 // 著	文藝春秋
F/イ	『でいすべる』	今村昌弘 // 著	文藝春秋
91/ク	『最高のともだち』	草野たき // 著	講談社
91/サ	『6+1の不思議』	斉藤洋 // 著	講談社
91/ハ	『金曜日のあたしたち』	濱野京子 // 著	静山社
91/ハ/2	『太陽と月 2』	はらだみずき // 作	小学館
93/ア	『図書館がくれた宝物』	ケイト・アルバス // 作	徳間書店
93/ハ/7	『魔導師の娘 クロニクル千古閣 7』	ミシェル・ペイグア // 作	評論社
93/ワ	『このすばらしきスナグの国』	E.A.ワイク=スミ // 原作	徳間書店



【小上・中・高・一般】

『12歳から始める
人見知りしない技術』
鳥谷朝代//著
秀和システム(36/ト)

どうして人見知りしちゃうの？
人見知りがなくなる方法、だれとでも仲良くなるには、人見知りをなおした人がしていること、など。
子どもからわかる人見知りをなおす本。



【小上・中・高・一般】

『すこしずるいパズル』
たつなみ//著
アリス館(79/タ/1)

しりとり迷路、穴埋めクロスワード、トマトパズルなど。ひらめきで解けるちよつとだけ「ずるい」パズル50問。二冊目の『すこしずるいパズル2』もあります。



【中学から】

『ぼくらの胸キュンの
作り方』神戸遥真//著
講談社(91/コ)

「ぼくと一緒に漫画、作らない?」。こっそり小説サイトで恋愛小説を書いていた日向。ところがクラスメイトで美術部の雪村にバレた! ふたりで少女漫画を描くことになったけど……。

お知らせ

とくしゅうてんじ

11月の特集展示

図書館では館内10か所ほどで特集展示をしています。ほぼ一か月で変わります。

○中央:「『なぜ?』にこたえる本」

○3F 東:「介護の困ったがわかる本」

○中央うしろ側:「くれっしんど!vol.38 特集」

○3F 西:「知ってる?国宝。」

○中央みどりのトラック:「季節感たっぷり!秋からはじまる小説」

ほか

奈義町立図書館
NAGI TOWN LIBRARY

「新刊のご案内」の
ダウンロードはこちらから
2023.11月号



発行: 奈義町立図書館 奈義町豊沢4-4-1 ☎0868-36-5811

open: 9:30-17:00 (Tue & Thu 10:00-18:00) close: Mon & The day after the holiday & Library clean-up days